

News Letter

DIVERSITY



ダイバーシティ 2019年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)



ご挨拶

2019年度文部科学省の「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」に採択されました。本事業は、長岡技術科学大学を代表機関として、長岡工業高等専門学校と株式会社イトラストが連携して、女性研究者支援制度等の整備や意識改革を図りながら、多様な人々が学んだり、研究したり、働いたりできるダイバーシティ環境を整えようという事業です。多数の男性が占める工学系の教育研究機関や企業に、女性研究者や技術者が増えることを目的としています。今回のNEWS LETTER創刊号ではこれまでの取組状況や基本方針をお伝えしていきたいと思ひます。

代表機関総括責任者 学長 東 信彦
長岡技術科学大学

キックオフ・シンポジウム(第1回管理職研修)開催(9/13)

テーマ「ものづくり地方都市における工学系女性研究者の育成・支援」

本事業の趣旨や内容を紹介するとともに、「ダイバーシティ」についての理解に向けてキックオフ・シンポジウムを開催しました。

来賓として文部科学省科学技術・学術政策局人材政策推進室長 楠目聖氏と協力機関でもあります長岡市の市長 磯田達伸氏をお迎えし、激励をいただきました。また、意識改革に向けて、伊藤公雄氏(京都産業大学現代社会学部客員教授・ダイバーシティ推進室長)から、特別講演をいただきました。106名(高専・大学66名、企業19名、行政11名、金融・銀行3名、報道2名、一般5名)のご参加をいただき、その内女性が33%を占め、関心と期待の高さが伺えました。

挨拶:文部科学省・楠目聖氏
「女性研究者の増加は科学技術政策の重要課題です。」挨拶:長岡市長 磯田達伸氏
「女性活躍推進に取り組んで参りましょう。」

特別講演「科学技術における男女共同参画の現状と課題」要旨



特別講演:伊藤公雄氏

1 変化した国際社会、変革できなかった日本社会

1970年代以後、国際社会では女性の労働参加と労働時間の短縮の動きが広がり、人間らしい労働の思想が拡大した。一方、日本社会は、女性の社会参加なしのまま、男性の長時間労働で大きく経済成長し、その「成功体験」に縛られて1990年代になっても変革できなかった。そのひずみが広がり、家族の絆・地域の絆の破壊、女性の社会参画の遅れ、過労死の急増等、人間らしい生活の破壊が続いた。

2 男性主導社会=日本の「ひずみ」

東京医大の女子学生排除の問題をはじめ教育から経済、政治まで日本は不平等が続いている。女性を苦しめているだけでなく、男性にとっても〈男らしさ〉の鎧が重荷となっている。〈男らしさ〉には、優越志向、所有志向、権力志向の3要素があり、女性に「負けられない」男性たちは、女性を支配するだけでなく、実は依存する傾向もあり、いびりながら甘えてきたのだ。

3 「同調型集団主義」から協調型へ

日本人はよく「集団主義だ」と言われるが、他者の動きをモニタリングしながら損しないように振る舞うという「同調型集団主義」。日本人の方が米国人より「個人主義」が多数派という社会心理学の研究結果がある。必要なのは、他者と協調できる「協調型集団主義」だ。

4 ふたつの「G」に注目

今、日本に求められるものは、二つのG、すなわちGender & Generation(ジェンダー平等と次世代育成)への注目。日本社会の安定した発展には、男女共同参画とそれを可能にするワークライフバランス、そして、次世代の安定した成長を保证することが必須だ。

取組の5本柱

女性研究者採用・登用人事の推進

- 女性教授（相当）及び若手女性研究者の積極採用
- Iターン・Uターンを希望する女性研究者に対する女性限定公募
- 全国高専、企業、国際産学連携等を利用したクロスアポイントメントによる採用人事



技学テクノパークネットワークを活用した女性研究者人事交流

組織全体の意識改革

- ダイバーシティ連携推進会議及び各機関に推進担当を新設
- 連携・協力機関との協働による男女共同参画講演会等の開催
- 国連アカデミックインパクトにおけるハブ大学やスーパーグローバル創生支援事業大学として、ジェンダー平等、ダイバーシティ推進への意識改革



アカデミック・インパクトハブ大学

女性研究者の研究・キャリア支援

- 卓越した女性研究者への研究支援
- 女性代表の共同研究への研究支援
- 女性リーダー育成、産業の技術革新、地域貢献に繋がる共同研究支援
- 女性研究者のための競争的資金獲得セミナー等の開催
- 女子学生対象の博士後期課程進学セミナーの開催
- 研究倫理教育と啓発



ライフイベント支援

- 育児・介護等を抱える研究者への研究支援員配置
- 復帰・復職研究者への研究支援
- 病児・病後児等の保育利用補助
- 学内保育室の設置
- WLB及びキャリア支援のためのメンター制度構築、相談室（相談員・学内コンシェルジュ）の配置
- ライフイベント時の代替教員リスト作成



地域・企業連携による女性研究者支援

- 連携機関や協力機関を通じた女性研究者と地域・企業とのネットワーク構築支援
- 地域の工業界との連携による女性研究者・技術者支援に向けたダイバーシティコンソーシアム（仮）構想の検討



女性研究者と企業等とのネットワーク構築

女性比率増

多様性実現

研究力向上

研究環境整備

地域連携

1 連携3機関における女性研究者を代表とする共同研究費支援→研究力向上、地域連携

目的／女性研究者の研究力向上 研究リーダーの育成

内容／・いずれかの機関の女性が研究代表となる共同研究であること

・最低2機関の研究者による共同研究であること、他大学や企業の実験者が加わってもよい。共同研究者は男性も可

2 育児・介護期等の研究者に対する研究支援者配置制度→研究環境整備

目的／妊娠・出産・子育て・介護等（ライフイベント）を抱える研究者（男性研究者も対象）の活動を支援

対象者／妊娠中又は小学6年生までの子育て中の方、市町村から要介護の認定を受けている親族（同居・別居を問わない）を介護している方

内容／実験やデータ解析等を実質的に補助する研究支援員の配置

募集／定期募集（年2回程度）への応募及び緊急時には随時応募可

3 ライフイベントからの復帰・復職者への研究助成金→研究環境整備

目的／ライフイベントによる研究中断や離職から復帰・復職した研究者のスタートアップに係る研究費支援

対象者／過去3年間に、通算3ヶ月以上研究活動を中断した研究者（男性研究者も対象）

内容／スタートアップ研究費の支援、学会参加の支援、論文投稿の支援等

支援の内容、条件等詳細については各機関の担当者にお問い合わせください。

- 長岡技術科学大学……………ダイバーシティ研究環境推進部門 ☎0258-47-9911
- 長岡工業高等専門学校……………総務課 ☎0258-34-9313
- 株式会社イトラスト……………経営管理本部 ☎0258-21-2500



3

女性研究者を代表とする共同研究支援（2019年度12件決定）

研究代表者	所属	専攻・学科	職名	研究課題名	共同研究者の所属
高橋 由紀子	長岡技科大	物質材料工学専攻	准教授	植物由来フェノール化合物を用いた有機顔料の耐光性の向上に関する研究	奥村 (長岡高専)
白仁田沙代子	長岡技科大	物質材料工学専攻	准教授	ラマン分光法による窒素熱処理した高耐食ステンレス鋼の耐食機構の解明	竹内 (長岡高専)
西川 雅美	長岡技科大	物質材料工学専攻	助教	光MOD法による機能性薄膜作製プロセスへのコンビナトリアル手法の適用	村上 (長岡高専)
シリポーン タオガアオ	長岡技科大	物質材料工学専攻	助教	Bulk functionalization of nanocellulose using cinnamic acid and its derivatives via pyridinium-based ILs and co-solvents system	宮田 (長岡高専)
松田 曜子	長岡技科大	環境社会基盤工学専攻	准教授	ユーザビリティを考慮した水害リスクの地域学習デザイン	大野 (イトラスト)
山本 麻希	長岡技科大	生物機能工学専攻	准教授	AIやロボット技術を活かした鳥類回避システムの開発	上村・矢野 (長岡高専) 白井 (電力中央研究所) 酒井 (イトラスト)

研究代表者	所属	専攻・学科	職名	研究課題名	共同研究者の所属
ドゥ ティ マイ ズン	長岡技科大	原子カシシステム安全工学専攻	助教	Synthesis and characterization of cesium silicate glasses	小出 (長岡高専)
清沢 瑞枝	長岡技科大	産学融合	特任准教授	マイクロデバイス作製のための表面酸化処理用フェムト秒レーザー還元直接描法の創成	中村 (長岡高専) 土坂 (岐阜大学) 宮保 (大阪大学)
土田 泰子	長岡高専	一般教育科	准教授	生体信号計測による英語力の定量評価システムの開発	藤井 (長岡技科大)
竹内 麻希子	長岡高専	電気電子システム工学科	准教授	表面改質処理を施したCZTS系化合物半導体の光学的評価	田中 (長岡技科大) 島宗 (長岡高専)
小島 由記子	長岡高専	環境都市工学科	助教	地震被害と地盤特性を考慮した複合的地震ハザード評価	池田 (長岡技科大)
細川 陽子	長岡高専	教育研究 技術支援センター	技術専門職員	ICP発光分光分析装置を用いた硫化物薄膜の組成評価技術の開発	田中 (長岡技科大) 荒木 (長岡高専) 神保 (長岡高専)

4

相談室（3 機関共同利用）の設置

研究者や教職員、社員等が出産、育児、介護等のライフイベントに直面した際の研究・仕事との両立やワークライフバランスに関する悩みをともに受けとめ、相談者に寄り添い、解決への方法を一緒に考えていきます。男性には相談しづらい困りごとや悩みにも女性の相談員が対応いたします。また、相談者の許可を得たうえで学内外の専門組織・機関を紹介することも可能です。

相談室／長岡技術科学大学総合研究棟7階707号室(休憩室としても利用できます。)
連絡先／Email : wlb_soudan@vos.nagaokaut.ac.jp TEL : 0258-47-9911



私をご相談に
応じます

しらい ひとみ
白井 一美
(相談員)

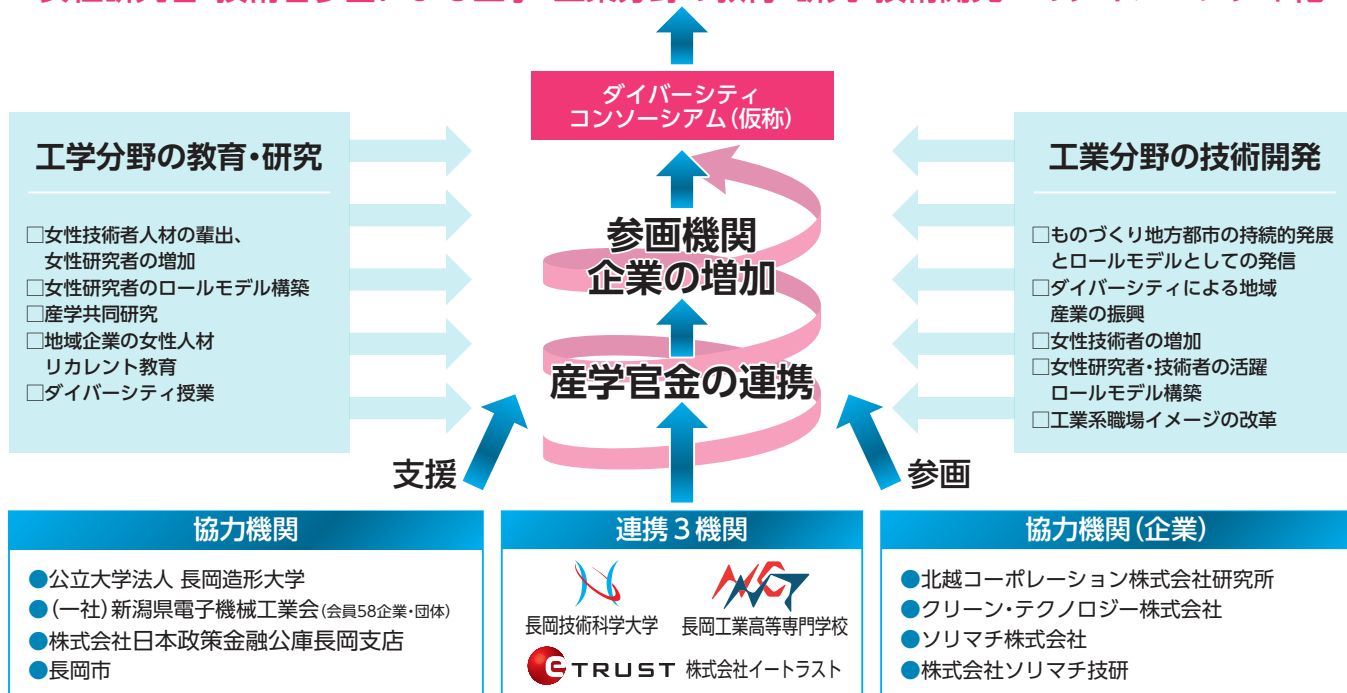
産業カウンセラー、国家資格キャリアコンサルタント、(公財)日本女性学習財団キャリア支援デザイナー。専門学校、国際協力関係の財団に勤務し、出産を機に退職、専業主婦となる。子育てをしながら地域活動に参加。3年前新潟にUターン、再就職。現在は、ウィルながおかパートナー、ファザーリング・ジャパン マザーリング・プロジェクト等、長岡市を中心に県内の女性活躍推進、男女共同参画に関わり、仕事×子育て×社会活動の中で、パラレルキャリアを実践している。また、ベトナム（ハノイ）で語学留学・勤務経験があり、ベトナム語での対応も可能。

5

連携3機関と協力8機関で「地域や分野への波及」に向けて

地域や分野への波及

女性研究者・技術者参画による工学・工業分野の教育・研究・技術開発へのダイバーシティ化



6 女性研究者・技術者のネットワークづくり

●協力機関((一社)新潟県電子機械工業会)の主催による所属企業の女性社員との意見交換



7/16

in NICOテクノプラザ

15企業等から女性30名(内連携機関から1名、協力機関から5名)参加



11/6

in アルプスアルパイン株式会社

15企業等から女性30名(内連携機関から5名)参加

●キックオフ・シンポジウム



9/13

in 長岡技術科学大学

19企業等から女性33名(内連携機関から16名、協力機関から7名)参加

●新潟県主催女性のための異業種交流会



11/18

in アトリウム長岡

県内企業等から約50名(内連携機関から3名、協力機関から1名参加)

今後の予定

皆様のご参加をお待ちしています。

企画/長岡工業高等専門学校 | ロールモデル講演会

「研究を仕事にする、地元企業で働く」

講師/内山公子氏(亀田製菓総務部人事チームマネージャー)

1/14(火)

時間/16:20~17:30
会場/長岡工業高等専門学校
対象/女性の学生・大学院生・研究員

企画/長岡工業高等専門学校 | 研究力向上セミナー

講師/中野裕美氏(豊橋技術科学大学副学長)

2/25(火)

時間/15:00~16:30
会場/長岡工業高等専門学校
対象/連携・協力機関の教職員、約30名

企画/長岡工業高等専門学校 | 高専教員体験会(1)

専攻科特別研究発表会聴講

1/16(木)

時間/10:00~17:30
会場/アオーレ長岡
対象/女性のポスドク・大学院生・学部生、男性も可、約10名

企画/長岡工業高等専門学校 | ワーク・ライフ・バランスセミナー

講師/吉田健太氏(株式会社ワーク・ライフ・バランス認定コンサルタント、ファザーリング・ジャパンにいがた、新潟市パパーサークル代表)

3/5(木)

時間/15:00~17:00
会場/長岡工業高等専門学校
対象/連携・協力機関の若手男性教職員、女性も可、約30名

企画/長岡工業高等専門学校 | 高専教員体験会(2)

学校見学会

2/6(木)

時間/10:30~16:30
会場/長岡工業高等専門学校
対象/女性のポスドク・大学院生・学部生、男性も可、約10名

企画/長岡技術科学大学 | ダイバーシティ シンポジウム

アイランド大学教員のクリスティンさんによる「男女共同参画の推進:北欧の解決策(仮題)」を日本語で講演 他

2/28(金)

時間/15:30~17:00
会場/長岡技術科学大学
対象/誰でも参加可、約100名



企画/長岡工業高等専門学校 | 第2回管理職研修

「男性にとっての男女共同参画」

講師/多賀 太氏(関西大学教授)

2/21(金)

時間/15:30~17:00
会場/長岡工業高等専門学校
対象/連携・協力機関の教職員、約30名

企画/長岡技術科学大学 | クリスティンさんと女性研究者茶話会

女性研究者の育成と支援について

3/2(月)

時間/11:00~12:00
会場/長岡技術科学大学
対象/連携・協力機関の女性研究者・大学院生、約20名